

# 中学校給食スタート 手作り、和食・米飯、28品目アレルギー対応

調理後2時間以内喫食 ○おおむね好評



市民の強い要望だった中学校給食が9月1日(2学期)からはじめました。給食センターで調理し配達されます。私は(黒田)は小学校と同じような献立や手作り調理、アレルギー対応や食育の充実を求めてきました。センターの場所が市の一一番南・川西南中学校の敷地のため、全中学校への配達が、「調理後2時間以内の喫食」に対応できるか、提案や要望と点検を繰り返してきました。

特定原材料にも対応

市の職員配置が不十分

7月8、9日に施設内覧会実施、その後、調理や配達のシミュレーションが行われ、8月19日(金)には、全中学校での試食(写真・参考1)が実施されました。

給食調理は要求通り、小学校と同じように昆布や削り節から出汁をとる、ハンバーグやフライなども素材からの手作り、また和食中心の米飯給食の提供とし、食物アレルギー対応については、除去食・代替食の提供等により特定原材料等28品目に対応する体制がとられることになりました。

献立作成や物資発注、PFI事業者

との連携や点検、中学校における食育の取組みなどを考えると余りにも不十分です。少ない人数でも配置と比較しても特別少ない職員配置(参考2)となっています。

給食	牛乳 白飯 ミネストローネ ハンバーグ キャベツサラダ
代替食	サワラのカレー焼き

8月19日(金)献立(参考1)



アレルギー対応食を提供する生徒数は74人。配送車4台は、①東谷②川西南・多田③川西・明峰④緑台・清和台で運行され、2時間以内に喫食ができることがあります。

2学期だけですが、小・中・養護学校の給食費無償化市はコロナ禍の支援策として2学期だけですが、小・中・養護学校の給食費無償化を実施しています。また、要望していた、センターでの給食実施に伴い、詳細は未定ですが、来年の夏休みから留守家庭児童育成クラブでの「ランチ提供」がはじめられます。

給食センター職員配置	川西市	尼崎市	伊丹市	猪名川町
対象学校数	7校	17校	8校	小6、中2、幼3
最大調理能力(食)	4100	11000	6000	3500
所長	1・兼務	1	1	1
係長		1		
事務職		3	3(2)	2(1)
栄養教諭(県)	1	4	2	3
管理栄養士	1	2		
備考				直営調理
合計	(3)*	11	5	5

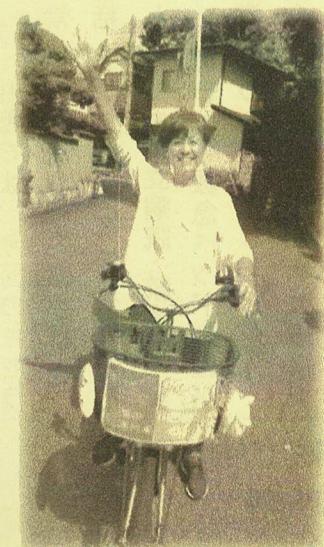
(参考2) ※給食センター内に配置されている職員数等について

\*(\*)内の数字は、事務専門。お一人は所長を兼ねています。

- ・猪名川町は、直営調理(正規調理員5、再任用1、会計年度任用職員シフト制34人)
- ・伊丹市は、小17校、特別支援1校の給食は、給食センター2カ所(各6500食)で実施。それぞれのセンターにセンター所長、事務員、管理栄養士がはりついています。

\*川西市は、センター所長を就学・給食課の課長が本庁業務と兼務します。

就学・給食課の業務とは、「学校の設置、廃止又は変更及び就学区域の設定又は変更／就学／学校基本調査及び児童、生徒数の推計／学級編制／就学援助及び就学奨励／奨学資金／学校園所の給食／学校給食会／川西市奨学基金 などに関すること」となっています。



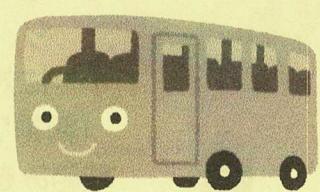
9月議会では、電車・バス会社への国庫補助金を使った財源2072万8000円が確保されました。引き続き、住み慣れた地域で住み続けることができる地域公共交通(バス・乗合いタクシー・交通費助成など)の確立にむけ、全力で取り組みます。

大和循環バス・市の補助路線は10月1日から新しいルートとダイヤ、一乗車220円で運行されます。山下・畠野駅間の運行はなくなり、「大和西三丁目」「川西病院」停留所は休止、「川西病院前」停留所は「東畠野六丁目」に名称変更されます。直接影響を受ける方からは、「これからどうしよう」と戸惑いの声も聞かれます。

地域公共交通は、住民の生活を支える大切な移動手段です。それぞれの地域の実態に応じた地域公共交通を確立するうえで、この間、皆さんと一緒に声をあげている「地域公共交通の実現にむけて、市だけでなく、国がしっかりと財政支援すること」が欠かせません。

**大和循環(補助路線)  
10月から新ダイヤ・運賃引き続き**

**地域公共交通確立へ  
全力!!**



「食べることは生きること」、こども達の成長・発達に欠かすことのできない食の確保。これからも学校給食の目的達成はもちろん、地産地消の取組み拡大、添加物や組換食品の使用を減らすなど、さらに安全・安心おいしい給食をめざすこと、保育所・こども園などの就学前施設や小・中・養護学校の給食費無償化に取り組んでいきます。